

高山病院福岡県認知症医療センター
令和 6 年度事業計画

[令和 6 年度活動方針]

1. 直轄地域において認知症の人と家族が安心して暮らし続けていくことを支えるためのサポートネットワークを構築していく上での優先課題とは何かを、実態を把握し、検討する
2. 直轄地域の地域住民および医療・介護・福祉等の関係者等から認知症医療センターの存在および具体的な役割に対する理解・関心を高めてもらえるよう、前年度以上に普及啓発活動に積極的に努める
3. 当センターが行う専門医療相談、および認知症初期集中支援チームの活動において、より質の高い支援を行えるようにするため、専門的知識の習得は勿論のこと日頃より支援技術の向上に努める

[令和 6 年度活動目標]

1. 専門医療相談 新規相談件数を前年度 69 件から 150 件まで増やす
2. もの忘れ外来（鑑別診断）新規受診者数を前年度 37 件から 80 件まで増やす
3. 診断後等支援 新規相談件数を前年度 24 件から 50 件まで増やす
4. 地域活動
 - 1) 出前講座 前年度 15 回から 30 回まで増やす
 - 2) 地域ケア会議等への参加を年 10 回以上を目指す
 - 3) 関係機関が開催する各種活動への協力 前年度 2 回から 4 回まで増加やす
- 1 認知症啓発のための地域住民向け公開セミナーの開催
 - 1) 第 1 回 8 月 30 日開催（当院ホームページに掲載）

2) 第2回 10月12日開催 (当院ホームページに掲載)

2 認知症啓発のための医療・介護・福祉専門職向けセミナーの開催

1) 認知症セミナー (当院ホームページに掲載)

2) 専門職向けセミナー 3月1日開催 (今後当院ホームページに掲載予定)

3 出前講座の開催

2024年度「出前講座」予定表&実績表 5月13日現在			
日時	テーマ	依頼者	参加者
4月13日(土)	認知症予防と運動	宮若市脇野いきいきサロン	25名
4月15日(月)	認知症予防と運動	直方市林光寺公民館	7名
4月17日(水)	コグニサイズ	直方市楽しいかい遊ぼう会	15名
4月18日(木)	認知症の予防	直方市つばき会	15名
4月19日(金)	認知症の早期診断・早期治療の必要性	福岡市西区ソーシャルワーク研究会	16名
4月23日(火)	認知症の予防	宮若市ボランティア協議会	60名
4月30日(火)	認知症の予防	直方市上境公民館いきいきサロン	25名
5月9日(木)	コグニサイズ	直方市つばき会	15名
6月2日(日)	認知症全般	宮若市立正佼成会宮田教会	-
6月9日(日)	コグニサイズ	宮若市山口野中地区いきいきサロン	-
7月2日(火)	認知症の基礎知識と予防	宮若市社協(笠松なびきホール)	-
7月3日(水)	認知症の基礎知識と予防	宮若市社協(同協議会)	-
7月4日(木)	認知症の基礎知識と予防	宮若市社協(旧宮若南小学校)	-
7月9日(火)	認知症の基礎知識と予防	宮若市社協(中央公民館若宮分館)	-
7月10日(水)	認知症の基礎知識と予防	宮若市社協(同協議会)	-
7月11日(木)	認知症の基礎知識と予防	宮若市社協(中央公民館若宮分館)	-
7月12日(金)	認知症の基礎知識と予防	宮若市社協(同協議会)	-
7月16日(火)	コグニサイズ	直方市植木本横自治公民館	-
8月27日(火)	認知症と認知症ケア	直方市すみれ荘	-
10月11日(金)	コグニサイズ	植木下町公民館	-
12月8日(日)	本人と介護者が笑顔でいるためには	直方市社協(直方市男性介護者のつどい)	-
12月16日(月)	認知症にならないために気をつけたいこと	直方市認知症サポーターを広める会カフェ	-
1月11日(土)	認知症にならないために気をつけたいこと	直方市認知症サポーターを広める会カフェ	-
1月21日(火)	認知症の予防	小竹町役場山下様	-
2月5日(水)	コグニサイズ	直方市認知症サポーターを広める会カフェ	-
3月15日(土)	コグニサイズ	直方市認知症サポーターを広める会カフェ	-

(お知らせ)

- 今年度からプログラムに「認知症予防のため運動療法”コグニサイズ”」を追加しました
- 土曜日・日祝日のご依頼、少人数での開催依頼もお受けしております
- 依頼内容とスケジュールによっては、急なご依頼にも対応できますので、まずはご連絡ください

4 「認知症の人の地域生活支援を考える集い」

1) 第1回 8月9日開催 (当院ホームページに掲載別紙)

2) 第2回 2月28日開催 (当院ホームページに今後掲載)

5 「アウトリーチ検討部会」の設置について】

[趣旨]

認知症の進行及び重症化防止のためには、早期診断と早期治療、診断後等支援が重要です。しかしながら、患者・家族の意識や関係機関による初期介入の体制が不十分なことなどより、行動・心理症状が悪化した時点で受診につながるケースが多いのが現状です。まずは、早期受診を困難にしている要因等を様々なケースをもとに分析し、改善策を検討することが急務であると考えます。

今年度、当センターでは、2市2町からの委託を受け「認知症初期集中支援チーム」（以下、本チーム）の運営を開始することになりました。今後は、関係機関と運営状況や問題点について情報を共有し、ともに課題に向け検討する体制の構築が必要であると考えます。

以上のことから、当センターにおける本チームの運営およびアウトリーチを円滑に行っていくための課題の検討を目的に「アウトリーチ検討部会」を設置することを提案いたします。

[専門部会の運営方法]

1)部会委員候補

所属・団体名	委員名(敬称略)
直方市地域包括支援センター	永井達彦、濱本蓮美
宮若市地域包括支援センター	鍛冶谷美咲
鞍手町地域包括支援センター	梅田美江、森田みどり
小竹町地域包括支援センター	山下多美子
福岡県介護支援専門員協会	芹川佑介、本部久枝、延原真由美
ケアマネットくらて	豊田裕二
福岡県医療ソーシャルワーカー協会	調整中

※当院本チームメンバーが必要時参加

(事務局)当センター

2)会議および開催方法

- ① 会議は、定例会議と臨時会議とし、定例会議は4か月に1回開催する。臨時会議は、個別事例の検討が必要な場合に開催し、参加者は、事務局が調整の上開催する。
- ② 開催方法は、基本的には、ZOOMで行う。

3)検討事項

- 1) 本チームの運営に関する事項
- 2) 早期受診を困難にしている要因等に関する実態把握および改善策の検討
- 3) アウトリーチ事例集（仮題）の作成
- 4) その他必要と認められる事項

今後の検討予定

6月 令和6年度第1回高山病院認知症地域連携協議会

- 部会設置について提案

7月 第1回専門部会の開催

- 今後の検討の進め方
- 早期受診の疎外要因に関する実態調査の進め方について
- アウトリーチ事例集の作成について

8月～10月 実態調査等の開始

11月 第2回専門部会の開催

- 実態調査等の実施状況報告
- 初期集中支援チームの運営状況の報告
- 今後の検討の進め方の検討

12月～1月 実態調査等の継続

2月 第3回検討部会の開催

- 実態調査等の実施状況報告
- 初期集中支援チームの運営状況の報告
- 今年度の取り組みの総括および今後の検討の進め方

3月 令和6年度第1回高山病院認知症地域連携協議会

- 専門部会の活動報告

※ 上記の各検討事項は、まず事務局案を委員に報告し、それをもとに検討する

6 「一人暮らしや身寄りがない認知症高齢者へのサポートの在り方検討部会」の設置について

[趣旨]

今後、65歳以上の一人暮らしの人の増加が予測されています。直轄地域周辺は県内でもその割合が高く、認知症の人に限らず一人暮らし高齢者の生活支援の整備が不可欠だと考えます。

ところで、一人暮らし認知症高齢者の生活状況に目を向けてみます、家族との関係は疎遠で、本人が受診や介護サービスの利用、近隣住民との関わりを拒否し、地域から孤立している人。また、支援の手が届かず、ライフラインも止められ、家屋もゴミ屋敷の状態に陥っているなど、生活が破綻している人も少なくありません。また、身寄りがない認知症高齢者では、例えば、生命に関わる危機的状況のため、医療機関への入院や介護施設等への入所が必要な場合でも、身元保証人がいないなどの理由からスムーズにいかないケースも多々生じています。

このような現状から、一人暮らしの認知症高齢者や身寄りがない認知症高齢者の地域生活支援の在り方を検討することが愁眉の課題であると考えます。

そのため、まずは、介護支援専門員や医療ソーシャルワーカー等相談支援に従事する人（以下、相談支援者）が抱えている問題点を洗い出し、どのような生活支援および地域での生活支援体制が必要かなどの課題を明確化することが先決だと考えます。

そこで、当協議会内に「一人暮らしや身寄りがない認知症高齢者へのサポートの在り方検討部会」（以下、サポート在り方検討部会）を設置し、次の通り検討を行うこと提案いたします。

[専門部会の運営方法]

1)部会委員候補

所属・団体名	委員名(敬称略)
直方市地域包括支援センター	永井達彦、濱本蓮美
宮若市地域包括支援センター	鍛冶谷美咲
鞍手町地域包括支援センター	梅田美江、森田みどり
小竹町地域包括支援センター	西田百合、花田圭子
福岡県介護支援専門員協会	財部三枝子、日高理恵
ケアマネットくらて	豊田裕二
福岡県医療ソーシャルワーカー協会	藤 洋介

(事務局)当センター

2)会議および開催方法

- ① 会議は、定例会議と臨時会議とし、定例会議は4か月に1回開催する。臨時会議は、個別事例の検討が必要な場合に開催し、参加者は、事務局が調整の上開催する。
- ② 開催方法は、基本的には、ZOOMで行う。

3)検討事項

- 1) 相談支援者が一人暮らしや身寄りがない認知症高齢者の支援において抱えている問題点の把握
- 2) 支援体制を整備していく上での課題の洗い出し
- 3) 相談支援のためのマニュアル等の検討
- 4) その他必要と認められる事項

今後の検討予定

6月 令和6年度第1回高山病院認知症地域連携協議会

- 部会設置について提案
- 話題提供「身寄りのない患者さんを支援するために～よくある悩みへのヒント～」集作成までの取り組み～ 福岡県医療ソーシャルワーカー協会

7月 第1回専門部会の開催

- 今後の検討の進め方
- 実態等調査アンケート内容および実施方法の検討

8月～10月 実態等調査の開始(第1回目)

11月 第2回専門部会の開催

- 実態調査等の実施状況中間報告
- 今後の進め方の検討

12月～1月 実態等調査の実施(第2回目)

2月 第3回検討部会の開催

- 実態等調査の実施状況報告およびまとめ方について検討
- 今年度の取り組みの総括および今後の検討の進め方

3月 令和6年度第1回高山病院認知症地域連携協議会

- 専門部会の活動報告
- 話題提供「身寄りがない人の生活支援」鹿児島市ゆくさの会での取り組み(調整中)

※ 上記の各検討事項は、まず事務局案を委員に報告し、それをもとに検討する

7 地域ケア会議等への参加

1)宮若市地域ケア会議への参加

宮若市地域包括支援センターから、当センター精神保健福祉士にコメンテーター派遣の依頼があり、今年度は6月、8月、10月、12月、2月の計5回参加予定。

2)鞍手町地域ケア会議への参加

7月17日(水) 14時から

なお、依頼は随時受け付けて、協力させていただきたいと考えています。